市史へんさん

第 237 号

平成 30 年 12 月 1 日

小松市史編纂事務局

へんさんだより

今年もいよいよ残り 1 ヶ月となりました。芦城公園では冬の風物詩となる雪吊りが見られ、すっかり冬の佇まいです。今年はどんな 1 年だったでしょうか。昨年度末に発刊された『建築編』は、現地調査を行い、全 9 章に分類、収録しましたが、写真と図面が掲載され、大変わかりやすいと好評です。今年 5 月に、日本遺産「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～」に追加認定され、北前船主として栄えた安宅町の建造物も掲載されております。ぜひご一読ください。

『新修 小松市史 資料編 15 建築』絶賛発売中

『新修 小松市史 建築編』見どころ紹介 (第 4 章 農家建築より)

下里家(下大杉町)

☆ 第 1 節 山間部農家

加賀地方の農家の多くは、概ね妻入り茅葺きで、間取りは間口いっぱい「ニワ」(土間)と中央部に「オエ」(広間)を配し、オエの奥に「ブツマ」(座敷)と「ナンド」(寝間)を 2 列にして設けることを基本とするが、市内の現存する多くの農家は、奥の部屋を 4 室取りとする、いわゆる「田の字型」の座敷空間としている。

下大杉町にある下里(カガリ)家は藩政期は村の肝煎役を務めた家柄で、天保 10 年(1839)築と建築年代は古く切妻棧瓦葺き(キツサカガワキ)の大屋根を架け、2 階建ての規模の大きい上級農家の形式を良く伝える家である。

☆ 第 2 節 山間部念仏道場

山間部特有の建築として、念仏道場は個人、または集落で道場を保有し、日常の宗教行事や集会を檀家寺院に代わって執り行う施設として誕生した。浄土真宗寺院の原初的な空間を示す貴重な遺構である。

八幡の薬師如来堂は、天保 8 年(1837)の大飢饉で、新丸村須納谷(現花立町)の多くの村民が飢えで死亡したのを弔い慰めるために建立されたもので、過疎が進んだことから、昭和 44 年(1969)に現在地に移築された。建築規模は、間口 4 間、奥行 6 間半で、もと板葺きであったが、腐朽が多く、移築時に瓦葺きに変更された。

☆ 第 3 節 平野部農家

平野部には規模の大きい農家が数多く存在するが、質の高さや規模において、河田・小島地区には目を見張る建造物がある。また、松梨地区には織物業の参画がもたらした工場を持つ兼業農家や佐美地区ではニワを縮小し納屋を同一敷地内に建てる農家が、昭和初期頃の様相を伝える。その他、北前船交易で隆盛を極めた廻船問屋の米谷家は、文政 5 年(1822)築で、土蔵 4 棟が建ち並び、広間型 3 室取りの間取りを持つ加賀型農家である。

『新修 小松市史 資料編 15 建築』は、12 月末まで、特別価格 4,000 円にて販売しています。

来年 1 月からは、5,200 円になります。まだの方はお急ぎください。残りわずかです！

『新修 小松市史 資料編 16 教育』

《内容》

学校の先駆けとなった「集義堂」や「必下書院」から、「公立小松大学」まで、時代を追って、幼児教育、小・中・高校・大学など学校教育、そして社会教育と教育史の全貌を紹介する。 豆知識

今年度発刊予定の標記『教育編』の内容をご紹介します。現在、編集作業中です。

【目次】

- 第 1 章 近世の教育と修学
- 第 2 章 近代教育のはじまり
- 第 3 章 近代教育の確立
- 第 4 章 大正時代の教育
- 第 5 章 戦時下の教育
- 第 6 章 近代の中等教育
- 第 7 章 戦後教育の民主化
- 第 8 章 個別化・多様化する教育
- 第 9 章 教育諸団体の活動
- 第 10 章 現代の高校教育と大学
- 第 11 章 近現代の社会教育

集義堂に掲げられていた画像

集義堂では、礼節を重んじ、学問の祖である周公(左)・孔子(右)画像を掲げ、堂に入る子供たちには、必ず拝礼してから、席につかせました。

小松市立博物館所蔵

第 84 回市史講座の内容
をより詳細に登載!!

『芭蕉二百回忌の諸相』
著者 綿拔豊昭・鹿島美千代

【仕様】A5 判 223 頁

【価格】2,500 円+税

＜事務局 11 月の活動状況＞

- ・ 11 月 1～30 日 教育関係(小学校沿革史)資料調査
- ・ 11 月 1 日(木) 加賀三湖干拓事業関係資料調査
- ・ 11 月 8 日(木) 近現代関係(市議会会議録)資料調査
- ・ 11 月 21～27 日 亀渕家文書資料調査
- ・ 11 月 29・30 日 財政関係資料調査
- ・ 11 月 29 日(木) 通史中世部会
- ・ 11 月 29 日(木) 近現代部会
- ・ 11 月 30 日(金) 教育部会

＜事務局 12 月の活動予定＞

- ・ 12 月 4 日(火) 通史(中世・近世)小部会
- ・ 12 月 8 日(土) 通史(生活文化)部会
- ・ 12 月 9 日(日) 考古部会
- ・ 12 月 29 日(土) 教育部会

＜12 月のカレンダー＞

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23/30	24/31	25	26	27	28	29

は小松市史編纂事務局が閉室しています。

小松市史編纂事務局 (小松市立図書館 2 階)

- ・ 住所 〒923-0903 小松市丸の内公園町 19 ・ TEL 0761(24)5315 ・ FAX 0761(22)9763
- ・ E-mail hensansitu@city.komatsu.lg.jp
- ・ URL <http://www.city.komatsu.lg.jp/shishihensan/index.html>